

令和5年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立 明 和 中 学 校

作成日

令和6年2月16日

1 教育目標

人間尊重の精神を基本にして、知・徳・体の調和のある生徒の育成

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	指導工夫の改善と総合的な学力向上を目指す。本校の「明和中学校授業づくり」のさらなる充実において、学校評価アンケートでの「授業が楽しい」「学習内容がよくわかる」が80%以上に。	学級づくりを通し、自分と仲間を大切にし、よりよく生きていく力の育成で、学校評価アンケートの「私は思いやりやさしさの気持ちを大切にしている」という項目が90%という値である。大切さをはっきり意識させたい。	保健体育教育の工夫・改善による心と体の調和的育成で体育の実技授業の意欲・態度に関する観点A評価が半数以上に。	学校開放月間の行事や授業公開による地域への取組の充実で、学校評価アンケートにおいて70%以上の肯定的評価を得る。
重点目標に対する意見	○指導の工夫・改善と総合的な学力向上を目指す『明和中学校の授業づくり』のさらなる充実を進める。	○学級づくりを通し、自分と仲間を大切にしよりよく生きていく力をつけていく。 ○道徳教育の充実を強く進めていく。	○健康安全教育の充実のため、基本的な生活習慣の確立を進めていく。 ○部活動の充実を図る。	○新型コロナウイルス感染症による制限の解除をうけ、学校行事について地域への発信していく ○地域での体験活動への参加を進めていく。
取組状況に対する意見	○学力向上のために、いろいろな活動や補習、質問タイム等に取組んでいる。少しずつではあるが成果があるように感じられる。さらに結果に結びつくように、工夫改善をしていく。 ○授業づくりを大切に、誰もが学習したくなる環境をつくる。	○学習や学校行事によって豊かな心の育成が効果的になるように保護者、地域の協力も必要になってくる。 ○中学生になると学校での出来事をあまり家庭で話さなくなり、学校での活動状況が伝わらない家庭もある。	○思春期にみられる心と体のアンバランスの道理を学ばせ、心と体の調和的発達を促す取り組みが必要である。	○学校からのプリントが保護者まで届かない家庭もあるので、ホームページ等でもっと学校の様子を伝える必要がある。
取組の適切さの検証結果	○学校評価アンケートから、わかる授業・授業の工夫の評価が低いことを重く受け止める。 ○生徒の学習意欲や学習習慣も大切な要因なので、関連づけながら検証していかないといけない。	○学校評価アンケートから、生徒の多くが楽しく学校生活を送れていることがうかがえる。 ○いじめ防止や共に生きる大切さ、将来の進路や生き方についても80%以上である。いじめ防止や学級づくりを常に意識した取組みを継続していく。	○保健だよりを毎月配布し、保健委員会と協力して各種のポスターを掲示するなどの活動はわかりやすく啓発につながっている。	○学校評価アンケートから学校行事が充実していることがよくわかる。 ○学校の取組も大切だが、保護者の協力も必要。高校の保護者は熱心だと聞くが、公立中学校の保護者には幅がある。啓発を促していきたい。
改善方法に向けての意見	○昨年度から取り組みを継続している授業改善が成果につながることを期待し、生徒の学力向上のために、これからも授業づくり研修を継続していく。 ○基礎的な学習部分の定着が必要である。	○「自分のクラスのために、よく頑張っている」という項目が60%であるために来年度は、80%を目指す。 ○中学生は、自立心や責任感を育むためにできるだけ手はかけずに導く方がよい。目はかけないといけない。保護者の協力も必要である。 ○子どもたちが社会で生きていくために必要な力を見極め、豊かな心を育てる学校教育を進めていく必要がある。	○生徒の体力の向上、さらには日常生活への自身の健康に向かう力を身に付けさせることを大切にしたい。 ○体力が着くことで各授業での集中力を高めていきたい。	○学校行事等の日程については、保護者が参加しやすいように早めに案内する必要がある。 ○4月時点での大まかな年間行事予定を伝えることで、保護者の参加を増やしていきたい。